

# はるにれの里 家族会連絡協議会 提言の実施状況

## 本資料の概要

1. 「平成 29 年度社会福祉法人はるにれの里 事業報告」の内容  
2018 年 7 月 7 日に説明を受けた、法人の平成 29 年度重点課題に対する実績
2. 「平成 30 年度社会福祉法人はるにれの里 事業計画」の内容  
2018 年 7 月 7 日に説明を受けた、法人の平成 30 年度の重点課題
3. 「2017 はるにれの里家族会連絡協議会アンケート」の提言関連の、2018 年 7 月 7 日現在での法人から情報での更新  
上記内容と事業所個別の計画から、「提言」に対する活動と考えられる部分を抽出
4. 「平成 29 年度社会福祉法人はるにれの里 事業計画」へのコメントに対する 2018 年 7 月 7 日現在での法人から実績情報での更新  
1 の内容で、家族会からの平成 29 年度の重点目標に対するコメントへの対応と考えられる活動を対応

## はるにれの里 家族会連絡協議会 提言の実施状況

◆「平成 29 年度社会福祉法人はるにれの里 事業報告」の内容 (受領資料より)

項番	平成 29 年度重点課題	詳細
1	利用者支援サービスの見直し	(1) 多様な地域での暮らしの実現 2 ユニット型 GH 開始 (ケア職員が 2 名配置) (5) 当事者活動の支援体制充実 石狩大地の会の活動 (6) GH 利用者支援問題 支援の困難事例に対して法人全体の課題とする仕組み作り
2	人権擁護・虐待防止の取組みと外部評価システムの構築	
3	法人家族会連絡協議会との連携強化	「はるにれ」 9 4 号で提言等への報告掲載
4	法人機構改革の取組み	
5	人材確保と職場定着・人材養成、及び働き方の見直し・処遇改善の取組み	
6	公益事業としての養成研修事業の取組み	
7	サービスの安全対策の徹底等 (以下省略)	(1) 境氏行方不明について 失踪宣告が平成 29 年 6 月に確定となった (5) 事故予防と発生時の適正対応と夜間救急体制と健康・医療管理の強化 はまなす園での事故から
8	厚田はまなす園・ゆいの入所施設の地域移行に向けた役割と機能の検証	
9	ふれあいきのこ村・とれたってマルシェの新たな事業展開	
10	グループホーム夜勤体制の抜本的見直し	
11	継続的な障がい福祉制度等への提言・要請の取組み	
12	地域貢献事業の取組みについて	
13	事業開始 30 周年記念事業の実施	記念講演会の開催

## はるにれの里 家族会連絡協議会 提言の実施状況

◆ 「平成 30 年度社会福祉法人はるにれの里 事業計画」の内容 (受領資料等より)

項番	平成 30 年度重点課題	平成 30 年度重点課題の詳細
1	重点的な事業整備	(1) 生活介護事業所「さりゅう」の移転 (2) 「ゆい」隣接地に新たな生活介護事業所の開設準備 (3) 地域活動支援センター「彩」の改修整備 ⇒ 完了 (4) 地域活動支援センター「えみな」の増築整備 (5) GH「飛雁里」移転に伴う中沼地域に2ユニット新ホームの整備 (6) 「厚田はまなす園」将来構想委員会における検討の中間まとめ・報告をおこない一定の方向性を具体化
2	利用者サービス支援の見直し	(1) 多様な地域での暮らしの実現 GHの類型に「日中サービス支援型」が新設されたことで、具体的に仕組みや体制を検討する (2) 利用者の高齢化対策に向けた取り組みを進める ・介護予防の取組みとして、運動など身体機能低下予防など予防の視点での取組み ・医療ケア・健康管理（日常的、健康診断、食生活・栄養管理） ・生涯を見据えた支援計画（家族と共に考える） (3) 法人内困難ケースへの取組み（担当支援などに「支援の孤立化」が生じないように法人全体の課題として調整会議など仕組みを作る） (4) 在宅支援を中心とした療育ヘルパーの取組み準備 (5) 在宅支援を目的とした拠点事業の取組み (6) 人権擁護・虐待防止の取組み (7) 外部評価システムの構築 (8) 当事者活動の支援体制拡充 (9) 触法障がい者の支援
3	GH 夜勤体制整備の取組み	夜勤体制整備の進捗状況と課題を整理し、勤務体制など業務内容の整理・改善 夜勤体制の休憩時間問題で厚労省へ要望
4	人材確保と職場定着・人材養成、及び働き方の見直し・処遇改善の取組み	(1) 職員の働き方の見直しと環境整備 人材確保と職場定着のため環境整備を進める、「女性の働きやすさ向上委員会」 (2) 離職防止と職場定着そして働きがい ・エルダー・メンターの取組み ・職員のメンタルヘルスキアの仕組み作り (3) 人材確保プロジェクトチームを設置 (4) 業務の見直しと間接業務へのパート職員の導入 (5) 法人内外における研修の推進 (6) 総合職や中間管理職の人材養成
5	法人家族会連絡協議会との連携強化	第三者評価的な仕組みづくり 高齢化した保護者に対応した成年後見人の制度導入の具体的検討

## はるにれの里 家族会連絡協議会 提言の実施状況

◆「2017 はるにれの里家族会連絡協議会アンケート」の提言関連の、2018年7月7日現在での法人から情報での更新

項番	家族会提言	2018年7月7日の法人計画内容
1	就労支援で「フォローアップサービス」の認識を上げて適切にサービスへ導くこと 制度化へ向けての運動などへの支援をお願いしたい	「あるば」の活動として、「総合就労支援センターCAP」の本格稼働を計画。制度化された「就労定着支援事業」を「就労移行支援事業」に加えて、今まで独自事業として展開していたフォローアップ事業を取込む。 関係機関や利用者の意見を聞き、改善修正を加えてサービス向上を目指す。
2	就労事業における作業内容・時間・賃金などの情報を家族・本人と共有すること	「きのこ村」では支援職員へのサポートが不十分である問題で将来への問題意識あり。 「とれたってマルシェ」では雇用形態や賃金設定の抜本的な見直しが必要。 「ポロレ」の工賃では、利用者の工賃見直しを職務規定に基づいて進める。
3	生活介護の支援内容の見直しと、家族への十分な説明をすること	「ほしのみ」・「ばいえ」で個別支援計画の策定方法や説明について改善の計画あり。 「やすらぎ」では保護者説明会を年1回から2回の開催とする。「あしり」も含めて、家族会との関係や個別支援計画の説明・同意・意見交換のやり方も改善する計画。 「さりゅう」では本人ニーズかどうか検証し個別支援計画に反映して家族と共有する。 「ポロレ」でも個別支援計画の改善を計画。
4	在宅生活者のグループホームなどへの移行の展開計画をすること	「ほしのみ」・「ばいえ」が重点目標で「在宅支援の強化とGHへの移行」としている。 「あらいぶ」では「在宅利用者・家庭支援～SOS、困り感をキャッチし、つなげる意識の強化」を重点目標としている。
5	グループホームの体制について再考と家族への十分な説明をすること	GH職員の圧倒的な人員不足は極めて深刻。そもそも現存GHを支える事自体も難しくなっている。少しでも職員が定着できるようここ数年全力で取組んできた。まずは夜勤回数を減らして労働環境も改善をめざした。ご理解をお願いしたい。アルバイトの導入へのご懸念もあると思うが、ベテラン職員により十分なバックアップ体制（夜間、遅番、早番、緊急シフト）を敷いている、また入社後の新人教育体制にも育成プログラムがあるが、今後も専門職を育てる取組みは進めていきたい。
6	高齢化を迎えても、本人や家族の面会など叶う支援の方法などを検討願いたい	「やすらぎ」は保護者説明会を高齢家族に配慮して札幌市内で開催する計画。
7	はまなす園老朽化にともなう対策で、ご本人の意向の確認を重視すること	「はまなす園将来構想委員会」の提案を計画にしていこう。この構想は厚田エリア全体の計画の一つでもあり、高齢となる利用者の暮らしの場をより医療の近い場所に移行することや、委託業務員の高齢化などによる人材不足なども視野にいれて検討していく。 また重点目標には「地域移行の推進と地域との協力体制」としている。
8	職員の異動について、不安がなくなる対策を検討すること	なし
9	本人達の高齢化に対応するための体力育成を全事業所として実施していくこと	法人の事業計画の項番2(2)に介護予防の取組みがある。 「やすらぎ」・「あしり」では投薬などで30歳代でも虚弱や老衰が進み、嚥下機能の低下による事故も発生しているので、医療連携委員会などと協力して対策する計画。 「レラ望来」は高齢化に向けた設備・活動面の見直しを重点目標に。 「あらいぶ」の重点目標に「生活習慣病の予防に重点を置いた健康管理～情報の共有と異変の気付き」がある。 「えみな」ではトレーニング室を設置した。

## はるにれの里 家族会連絡協議会 提言の実施状況

◆「平成 29 年度社会福祉法人はるにれの里 事業計画」へのコメントに対する 2018 年 7 月 7 日現在での法人から実績情報での更新

計画の項番	事業計画内容	コメント	平成 29 年度の実績
1 (2)	生活介護支援事業所の小規模化と再編成	生活介護の活動について見直しやきめ細かい対応の要望があったので、事業者都合の再編とならないよう配慮願いたい。	具体的な報告事項なし
3	法人家族会連絡協議会との連携強化	2 段落目であるが、当会で成年後見人を行うことは事実上困難であるので、現状は学習会や情報の提供などを行うものとする。また、第 3 者評価としては成立しないと考えている。あくまでもサービスをよりよくするために協力させていただいているという意識である。	「はるにれ」9 4 号で提言等への報告掲載（昨年回答と同じ）
5	人材確保と職場定着・人材養成	異動についてのコメントも多かった。異動自体は必要な事ではあるが、対策を十分とっていただきたいところ。支援計画を渡して引継ぎが完了ということではなく、ご本人主体とした内容であるかどうかの評価を行い説明することが必要ではないだろうか。具体的には引継ぎ後の様子を観察し不足していたことを発見し家族に説明し、次回の担当変更などに生かしていただくことなど。できれば管理者も評価に参加して、引継ぎがうまくいっているかを検証していただきたい。	人材確保は困難な状況が継続している。それでも他の法人よりは良い状況。
5 (3)	業務の見直しと間接業務へのパート職員の導入	パート職員へのフォロー体制などリスクになるようなところに対して、やり方の具体的な説明を家族にしていきたい。	具体的な報告事項なし
8	厚田はまなす園・ゆいの入所施設の地域移行に向けた役割と機能の検証	厚田はまなす園の将来構想検討会議で方向を決めていくとのことだが、今回のアンケートでは家族の方の意向も多いのと、やはりご本人の意向を確認していくプロセスを重視していただきたいと思う。ご高齢の方も多いため、面会や外出に対する配慮も合わせて検討していただきたい。	具体的な報告事項なし
10	グループホーム夜勤体制の抜本的見直し	アルバイトの導入については不安視している意見が散見されている。導入を進めざるを得ない状況は理解できるが、今後も制度の改正や人材不足の懸念はなくなるので、直近の課題で考えるのではなく、長期視点も取り入れて対応策を検討していただきたい。またアルバイト導入に対しての不安を解消するための説明をお願いしたい。	具体的な報告事項なし